

奥州市民憲章の紹介

市民憲章は「市民」のまちに対する愛情を育て「まちづくり」への参加意欲を呼び起こすという大きな意義があり、まちづくりのための行動目標を示したものです。市民憲章の策定は、市民憲章策定委員会が作業を行いました。委員会は、次の6つの点について留意して策定しました。

- まちづくりの目標となるもの
市民生活の規範となるもの
- 形式を前文と本文（3カ条）とする。前文には市の特性（歴史、伝統、自然）を盛り込む
- 旧5市町村の市町村民憲章制定の精神と内容を大切にす
- 本文の文末を「つくります」とする
- 表現は、わかりやすいものにする（子どもにわかるように）
- 学校・地域・団体などの諸会合で唱和されることが望ましい

奥州市民憲章

わたしたちは、歴史・伝統・自然に恵まれたこのまちの市民であることを誇りとし、さらに良いまちをめざして市民憲章を定めます。

- 一 ふるさとを愛し いきいきと働くことができるまちをつくります
- 一 すすんで学び 文化のかおり高いまちをつくります
- 一 みんなが手をつなぎ 健康で明るいまちをつくります

《平成19年2月20日制定》

平成18年2月

奥州市が誕生Ⅰ

3月

■ すい星発見の第一人者、関勉さんから星への命名権がプレゼント。「Oshun」と名前が付けられた

■ 奥州市初となる市長並びに市議会議員の選挙が行われる。即日開票の結果、相原正明初代奥州市長誕生Ⅱ

■ 衣川小、北股小、南股小が閉校Ⅲ

4月

■ 衣川小、北股小、南股小が統合され新生衣川小学校誕生
■ メイプルがリニューアルオープンⅣ
■ 奥州市民活動支援センターオープン

■ 衣川ふるさと自然塾に「三好京三記念室」開設

5月

■ 合併記念式典開催Ⅴ
■ 高野長英記念館所蔵の国指定重要文化財「損事故」
■ 江刺体育文化会館の愛称が「ささらホール」に決定
■ 江刺「北上川水辺の学校」オープン

6月

■ 江刺蔵まちな郷土しよくざい館「えびや」オープン

7月

■ 奥州市農業委員選挙が行われ、48人に農業委員が決まる

8月

■ 焼石クアパークひめかゆ（胆沢区）の入館者が300万人に
■ 正法寺の改修工事終わるⅥ

市の花鳥木の紹介

奥州市の花鳥木は「市のシンボルとして市民の皆さんに親しく、末永く愛されるものを」との気持ちを込めて制定しました。

選定は花鳥木選定委員会が行いました。委員会では、市民アンケートを行い、次の4つの視点で厳正公平に制定しました。

- 奥州市を象徴するもの、象徴されるもの
- 奥州市民に親しまれるもの
- 市民アンケートの結果を参考
- 旧5市町村で制定された花鳥木



市の花
【桜】

【選定の趣旨】春を待ちわびる心を包み希望を与え、咲き誇る場所には人が集まり、深く愛され親しまれているため



市の鳥
【雉】

【選定の趣旨】自然に恵まれているこの地によく見かけられ、子を守り育てる様子がたくましく、より自然の豊かさを感じさせるため



市の木
【もみじ】

【選定の趣旨】葉の移り変わりによる色彩が繊細でありそして優雅で美しく、四季を感じさせ、暮らしの中でもなじみが深いため

《平成19年2月20日制定》

奥州市誕生からの 1年を振り返る



①奥州市誕生。本庁舎前では、佐々木秀康奥州市長職務執行者の式辞に続き、テープカットとくす玉割が行われ、大きな拍手で新市の誕生を祝いました



②相原正明初代奥州市長誕生。笑顔で初登庁。相原市政スタート



⑦日高火防祭のはやし屋台が初めて海をわたり札幌ドームで開かれた「日本のまつり」出演。姉妹都市の長沼町からも招待され交流を深めました



⑧百鹿大群舞が大阪御堂筋パレードに出演。2年前の初参加の際の公式アンケートで「もう一度見てみたい郷土芸能」のトップとなり、今回は主催者側からの招待を受けての参加



③少子化が進む中、衣川小、北股小、南股小が閉校。写真は北股小の閉校式で最後の校歌を元気に歌う児童



④新生メイプルには、市民活動や福祉、子育て支援の拠点となる「市民プラザ・マッセ」が開設され、ショッピングに加え、市民の交流や活動の場としての機能を備えます。同区を中心市街地活性化の一端を担う施設として期待が寄せられています



⑥国の重要文化財正法寺の改修工事「平成の大改修」が11年8カ月の歳月をかけて終了。日本一のかやぶき屋根がよみがえりました



⑩前沢区の白鳥館遺跡と衣川区の長者ヶ原原寺跡は、平成20年の世界文化遺産登録を目指す「平泉—浄土思想を基調とする文化的景観」の中心をなす史跡群の一部として注目されています



⑩胆沢ダムは、洪水調節、河川環境の保全などのための流量の確保、かんがい用水・水道用水の供給、発電を目的としています。平成28年度には、わが国最大級のロックフィルダムとしてその姿を現します



⑨NHK大河ドラマ「風林火山」江刺ロケ。市民エキストラや地元ボランティアがドラマロケの成功を支えました

9月

■ 第18回岩手県民長寿体育祭いきいきシルバースポーツ大会で、金ヶ崎町と本市で構成された奥州地区チームが初優勝
■ 日高火防祭が「日本のまつり（札幌ドーム）」に出演Ⅶ

10月

■ 江刺鹿踊「百鹿大群舞」が大坂御堂筋パレードに出演Ⅷ
■ 兵庫国体で水沢区の木村聡さん（ボウリング競技）と岩谷堂農林高校3年の三嶋平さん（ウェイトリフティング競技）が優勝。

11月

■ NHK大河ドラマ「風林火山」がえさし藤原の郷でロケⅨ
■ 胆沢ダム定礎式Ⅹ
■ 黒滝温泉（衣川区）の入館者が100万人に
■ 岩手競馬組合が「新しい岩手県競馬組合改革計画」を作成

12月

■ 「平泉—浄土思想を基調とする文化的景観」を世界遺産登録するため日本政府が、ユネスコ世界遺産センターに推薦書を提出Ⅺ
■ 第15回アジア競技大会の自転車競技で、水沢区の及川裕奨さんが銀メダルを獲得
■ 水沢病院最新式CT装置導入
■ 平成19年1月
■ 江刺区出身の大山徹さんが、盛岡商業高校サッカー部の一員として全国優勝
■ 奥州市誕生1周年記念式典開催